



平成25年4月1日発行

ヒルズ通信

第23号
社会福祉法人 景誠会
特別養護老人ホーム
ヒルズ勝沼

1丁目

「小物入れ作りと春爛漫」

3月は、少しずつ入居者の皆様と一緒に小物入れを作り続けました。様々な色の和紙を空箱に貼り付けて、思い思いの飾りを付け、取っ手を付けて【完成！】と、言葉では簡単ではありますが、実際にやってみると、なかなかどうして・・・

それでも、手の空いた時間を使って、十日間程で出来ました。仕上がったおしゃれボックスは、それぞれの個室で小物入れとして活用していきたいと思っています。

また、一月に植えた「パンジー」が、手をかけた甲斐あって見事に咲き、満開状態となりました。今年は、冬寒く、3月になってから、急に暖かくなりました。これから、色々な花が咲き出しますが、一丁目のペラソダは、しばらく花が賑やかです。

(庄司 久貴)



2丁目

「車イスダンス」

今年の冬は各地で大雪が降るなど、大変寒い日が続きました。3月を迎え温かい日が続き、ヒルズ勝沼の中庭の桜やプラムの花が咲き始め、入居者様達もフロアより眺め、春を感じていらっしゃいます。

そんな春を感じ始めた3月5日に、ボランティアの方々による「車イスダンス」が行われました。皆さん一緒に歌を唄ったり、手と手を取り合って体を動かしたりと、皆さんとても楽しい時間を過ごす事が出来ました。普段はなかなか体を動かす機会がないので、大変良かったと思います。

体を動かせない方も、音楽を聞いたり、楽しい雰囲気味わって頂けたのではないのでしょうか。

ようやく暖かくなってまいりましたので、今月は入居者様と外出を予定しております。

(山田 宏明)



3丁目

「ぼたもち」

寒かった冬もようやく終わりを告げ、過ぎやすい春がツバメと共にやってきました。御家族の皆様には、面会制限などで御迷惑をお掛けしましたが、おかげさまでノロウィルス、インフルエンザ共にかかる事なく過ごす事ができました。まだ油断は出来ませんが、お花見に出掛けたいと思っています。

お彼岸には、ぼたもちを皆でワイワイ言いながら作り、美味しく頂きました。御雛飾りを作ったりと施設内でのレクリエーションが多かったのですが、これからの季節は外に出るレクリエーションなど色々考えています。

新しい職員も増え、また新たな気持ちで職員一同、入居者様が笑顔で過ごせます様お手伝いさせていただきますので、これからもよろしく御願い致します。

(渋谷 美佐子)

